

メールマガジン 2024年6月

年間を通して日照時間の少ないドイツですが、夏至を前に、22時を過ぎても外は明るいので、夜もカーテンは閉めずに美しい夕陽に感動しながら過ごしています。今年も半年間、心寄せてお支え頂き心から感謝申し上げます。主の慈しみと助けの中で、2025年の本帰国に向けて、ケルン教会の今後のことをはじめとして、公私共に主が一步步道を示してくださっているような感じがします。

6月16日の礼拝後、来年度の教会の歩みに関して、懇談会が開かれました。小さな群れですから、輪になって膝を突き合わせながら、其々の思いを忌憚なく自由に語り合う時となりました。神と教会を愛し、教会に仕える兄弟姉妹が、時には笑いもあり、ポジティブに将来を捉えているお姿を目にして、皆さんのことがとても愛おしくなりました。帰宅してからこのような神の家族と一緒に9年間過ごさせて頂いたのだなぁ…と色々な思いが過りました。礼拝形態等、様々な面の方向性を見出すことができ大きな一歩となりました。今後も与えられている課題を一つずつクリアしてゆくことでしょう。

今年は多くの教会にお招き頂き、ケルンの教会を留守にすることが多くなりましたが、皆さまが快く送り出してくださるので、恵まれた環境に感謝しています。外部の奉仕をさせて頂くことにより、私たちの教会では、当たり前と思っていたことが実は尊いことであったとか、或いは、新たな側面を発見したり、教会の現実を客観的に見ることができる良い機会となっています。ドイツに遣わされてから思うことですが、日本にいた時には気が付かなかった、日本の教会ならではの良さを発見したように、置かれている所から一歩踏み出すということは、貴重な体験だということに改めて痛感しています。

日本は、これからいよいよ本格的に暑くなる時期を迎えようとしているのではないのでしょうか。特にご健康が強められて、主と共に恵み豊かな信仰生活をお過ごしになれますようにお祈り申し上げます。

「支える会」のホームページにはドイツの様子がわかる写真も掲載しています。過去のメールマガジンも見やすかったですので、是非ご覧ください。 <https://www.komatsugawa-ch.com/PfarrerIn-Ryokosasaki/mailmagazine>

綺麗なドイツのアジサイ



教会で唯一のティーンエイジャー16歳。ドイツは、16歳からビールOK、地域の地方選挙権も今年から施行され、大人への一歩！ヴァイオリンも上手なイケメン



最近の我がアパートの風景
布団干しではありません
ヨーロッパサッカー選手権が始まり、窓からお国の旗を掲げて応援。ドイツは今、サッカー一色！

各国のサポーター集結で大混乱🌊
イギリス民族衣装キルト姿の応援団を駅でみかけました。
私は早く終わってほしい・・・



我が家から見える美しい夕焼け
22時近く

